

⑪ 公開実用新案公報 (U)

平2-98245

⑥Int.Cl.⁵

F 16 H 25/22

識別記号

序内整理番号

K 8814-3J
D 8814-3J

④公開 平成2年(1990)8月6日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑤考案の名称 緩衝材製スリーブを具えたチューブ式ボールねじ

⑥実 願 平1-6537

⑦出 願 平1(1989)1月25日

⑧考 案 者 西 浦 盛 展 奈良県大和郡山市額田部北町652-3 株式会社椿本精工
郡山工場内

⑨出 願 人 株式会社椿本精工 大阪府大阪市北区小松原町2番4号

⑩代 理 人 弁理士木下 洋平 外2名

⑪実用新案登録請求の範囲

ねじ軸とボールナットの間にボールが挿填され
ボールナットに設けられた連通孔に挿入されたチ
ューブにより前記ボールを循環させるチューブ式
ボールねじにおいて、

前記連通孔と前記チューブの間に緩衝材製スリ
ーブを介在させたことを特徴とする。

チューブ式ボールねじ。

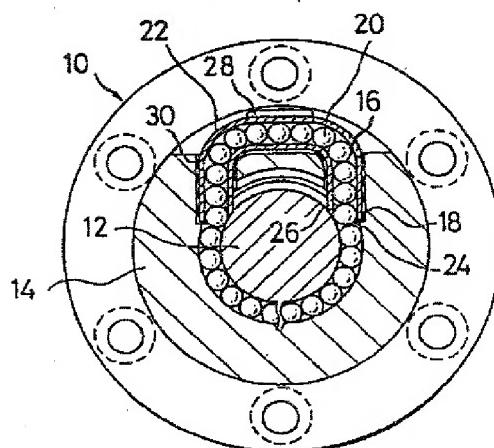
図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示し、第1図は第1実

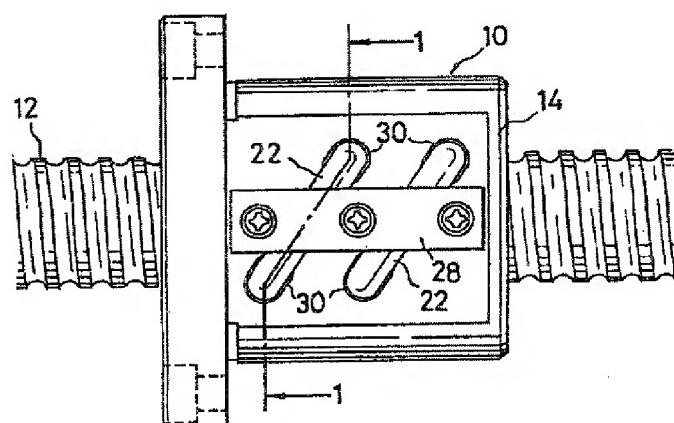
施例のチューブ式ボールねじの断面図であり第2
図の1-1線断面図、第2図は第1図のチューブ
式ボールねじの上面図、第3図は緩衝材製スリ
ーブの斜視図、第4図は第3図の正面図、第5図は
第3図の底面図、第6図は第2実施例のチューブ
式ボールねじの断面図である。

10……チューブ式ボールねじ、12……ねじ
軸、14……ボールナット、16……連通孔、2
2……循環用チューブ、30……緩衝材製スリ
ーブ。

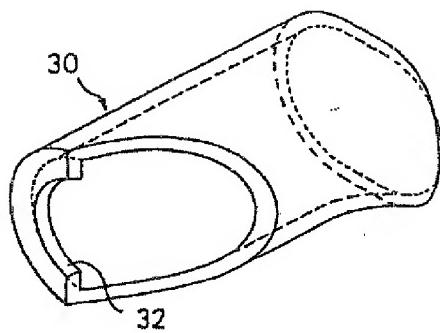
第1図



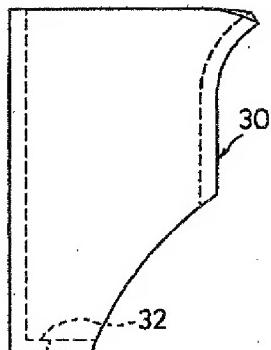
第2図



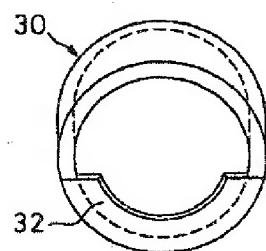
第3図



第4図



第5図



第6図

